

失われた 30 年と新しい世界

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

失われた 30 年における世界の現実の変化は想像に勝るものである。それらへの対処は絶対的必題として政治経済における現実として今日を有するものである。

これらは変化という現実なのである。それらは既存現実の永続を否定するものである。

これらは新しい趨勢を世界が有するという真実を理解しなくてはいけない。軍において旧世代のロシアは、もはや世界との対等性を有することは不可能なのである。経済や宇宙においてもこれら現実が存在するのである。

現状の給与と物価基準における世界と国内の相違性は真剣な議論を求める。新しいグローバル基準は国内基準と完全に相違するのである。

これらは世界経済の拡大と新しい現実への理解を必要とするのである。これらは、GDP という判断において、国内経済が完全に失われた 30 年において現実を相違させているという認識は完全に正しいのである。

これらは政治における現実の補足と分析における、国際戦略と国内社会の構築を行うことを再度提案するものである。

これらは他方においてグローバルイゼーションという潮流が存在し、これら世界の潮流への参加は不可避なのである。

これらは国内の閉鎖制が、既存現実とともに、新しい現実との相剋を有し、現実における大きな混乱を有するのである。

これらへの正しい対処は、新しい国内社会の枠組みの構築を提案したいと考える。これらは既存インフラや産業が未来を失うのではなく、新しい自己において参加することがそれを可能とできるものと判断するものである。これらは政治と官僚組織の真剣な討議を経て、新しい国家像と行政計画の作成における新しい国家への転換を真剣に討議すべきであり、これらは新しい外交方針とともに未来という現実を可能にする唯一の選択であると考えているのである。